

VASO[®]

シンプル USB ボイスレコーダー

VR48x



取扱説明書・保証書

安全に正しくお使い頂くために

この度は、本製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を正しくご利用頂くための基本的なお取り扱い方法などが記載されております。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。あなたと他の人々への危害や財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。



ご注意

本製品を使いこなすためには、各種音声コーデックやパソコン、オペレーションシステム(OS)に関する詳しい知識が必要となる場合がございますが、この取扱説明書ではそれらの情報については解説しておりませんので、市販の解説書などをご参考にしてください。また、これらの情報について当社にお問い合わせ頂いても、当社ではご案内出来ませんので予めご了承ください。

本製品の取り扱いについて

- ◎ 分解や改造をしないでください。
- ◎ 機器が故障したり、金属物が入ると、火傷や感電、火災の原因となります。
- ◎ 製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- ◎ 自動車やバイク、自転車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- ◎ 歩行中でも周囲の交通にご注意ください。
- ◎ 以下のような場所には保管しないでください。故障や事故の原因となります。
 - 60度以上の高温になる場所
 - 火気付近
 - 窓を閉め切った車内(特に炎天下)
 - 浴室などの湿度の高い場所
 - ほこりの多い場所
- ◎ 液晶画面に過度の力を加えないでください。画面や機能を損傷する原因になります。
- ◎ クレジットカード・キャッシュカードなどの磁気を帯びた物をスピーカーに近づけないでください。相互故障の原因となります。
- ◎ 航空機内や病院など電子機器の使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用機器へ影響を与えることがあります。
- ◎ 修理、その他による原因で消去されてしまった録音内容、データについては、当社は責任を負いかねます。
- ◎ 音量を上げすぎないでください。大音量で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与える可能性があります。
- ◎ 小児の手の届かないところに保管してください。
- ◎ 水に濡らさないでください。

電池の取り扱いについて

- ◎ 電池の＋と－の向きは正しくセットしてください。
- ◎ 長時間使用しない場合は、電池をはずした状態にしてください。
- ◎ 使用済みの乾電池を再充電しないでください。
- ◎ 加熱、分解をしたり、火や水の中に放置しないでください。
- ◎ ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。
- ◎ 被覆のはがれた電池は使用しないでください。
- ◎ 新しい電池と古い電池が混在した状態で使用しないでください。
- ◎ 取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚染の原因となります。
- ◎ 液が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- ◎ 小児の手の届かないところに保管してください。

免責事項

- ◎ 製品の故障、誤動作などの要因により、録音の消失や無録音などにおいて、発生した損害などの付随補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ◎ 製品の誤った使用により生じた損害、著作権の侵害などによる請求には、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

著作権について

- ◎ 私的用途以外で、著作権、歌唱、あるいは演奏・公奏などの録音物を複製したり、無断で録音することは法律などにより禁じられています。

録音についてお願い

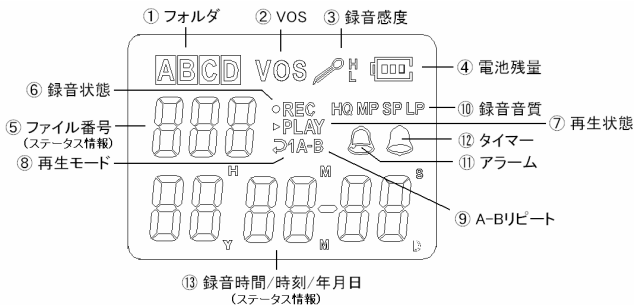
- ◎ 取り直しの利かない録音の場合、必ず事前に録音テストをしてください。

- 目次 -

製品各部の名称	6
ディスプレイの見かた	7
ステータス情報の説明	8
電池の取り扱い	9
電池の取り付け	9
電池残量表示	9
電源の ON/OFF	10
電源の ON	10
電源の OFF	10
ホールド機能について	11
各種メニュー機能の設定	12
残り録音可能時間の確認	12
年月日の設定	14
時刻の設定	15
タイマー録音の設定	16
アラームの設定	18
録音感度の設定	20
VOS 機能の設定	21
フォルダについて	23
音声を録音する	24
内蔵マイクでの録音	24
外付けマイクでの録音	27
録音した音声を再生する	28
内蔵スピーカーでの再生	28
イヤホンでの再生	33

録音した音声ファイルを削除する	34
1件削除	34
フォルダ内全件削除	35
全件削除	36
外部のオーディオとの録音	37
外部オーディオからの録音	37
外部オーディオへの録音	38
固定電話の通話内容を録音する	40
機器の接続	40
録音の実施	41
パソコンに接続する	42
機器の接続	43
録音ファイルの確認	44
ファイル名の見方	46
データの転送	48
録音ファイルをパソコン上で再生する	49
録音ファイルのフォーマット変換	49
フォーマット変換した録音ファイルを再生する	57
トラブルシューティング	58
主な製品仕様	59
保証規定	60
保証書	61

ディスプレイの見かた



- ① 現在選択しているフォルダが表示されます。
- ② VOS 機能を有効にしているときに表示されます。
- ③ 設定した内蔵マイクの録音感度の状態が表示されます。
- ④ 電池残量のめやすが表示されます。
- ⑤ 選択している録音ファイルの番号、またはステータス情報が表示されます。
- ⑥ 音声を録音しているときに表示されます。
- ⑦ 録音した音声を再生しているときに表示されます。
- ⑧ 音声再生中に再生モードが表示されます。
- ⑨ 音声再生中に A-B リピート機能を使用しているときに表示されます。
- ⑩ 録音した、または録音する音質が表示されます。
- ⑪ アラーム機能を有効にしているときに表示されます。
- ⑫ タイマー録音機能を有効にしているときに表示されます。
- ⑬ 録音時間や設定した時刻、年月日、またはステータス情報が表示されます。

ステータス情報の説明

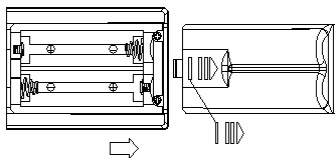
ディスプレイに表示されるステータスの文字とその説明を行います。

表示	説明
FULL	内蔵メモリの残量が無い、またはフォルダ内の録音ファイル数が99件になっているため、録音ができない状態のときに表示されます。 この状態から録音できるようにするには、不要な録音ファイルを削除し、メモリ残量または録音できる録音ファイル数を確保する必要があります。
HOLD	ホールドスイッチが ON になっているため、全てのボタン操作ができない状態のときに表示されます。この状態はホールドスイッチを OFF にすることにより解除できます。
PC	本製品とパソコンがUSBケーブルにより接続されており、パソコン接続が有効になっている状態のときに表示されます。
PAUSE	音声録音または音声再生が一時停止になっている状態のときに表示されます。 この状態のときに再度一時停止ボタンを押すことにより、録音または再生が再開されます。
ERASE	録音ファイルを削除しようとしている状態のときに表示されます。 この状態のときに再度削除ボタンを押すと該当する録音ファイルが削除されます。

電池の取り扱い

電池の取り付け

本製品は単4アルカリ電池2本を電源として使用します。



本製品背面の電池蓋をスライドさせて取り外し、単4アルカリ電池2本をプラス(+)とマイナス(-)の向きを確かめて正しくセットしてください。

⚠️ ご注意

- ※ 長時間使用しない場合は、電池を取り出して保管してください。
- ※ 誤った操作をされるとデータが消去される可能性がありますので、電池の出し入れの際は、録音・再生を停止してください。
- ※ 電池の極性を誤ってセットすると、製品の故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

電池残量表示

電池残量のめやすが、ディスプレイに表示されます。

電池残量のめやすにしたがって、お早めの電池交換をお勧め致します。



[残量十分]



[残量やや不足]



[交換時期]



[自動電源 OFF]

⚠️ ご注意

- ※ 電池の交換時には新品の電池をご使用ください。
- ※ 電池の持続時間はお使いになる条件(電池自身の質量、音量の高低など)により異なります。

電源の ON/OFF

電源の ON

本製品には電源専用のボタンはございません。

本製品のどれでも任意のボタンを2秒間以上押し続けると電源が ON となり、待機状態となります。

電源の OFF

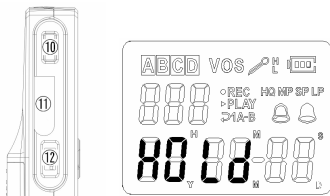
待機状態のまま、何もボタン操作しない状態が30秒継続すると、本製品の電源が自動的に OFF となります。

ホールド機能について

ボタンの誤操作を防ぐための機能です。

本製品左側面のホールドスイッチ⑫を下方へスライドさせるとディスプレイに[HOLD]と表示され、機能が有効になります。機能が有効になると全てのボタン操作ができなくなります。

ホールド機能を解除するにはホールドスイッチ⑫を上方へスライドさせます。

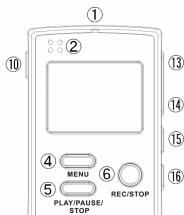


ご注意

- ※ ホールド機能が有効な状態でボタンを操作するとディスプレイに[HOLD]と表示されます。
- ※ 本製品の電源がOFFの状態から電源をONにする際にホールド機能が有効なままではボタン操作により電源をONにできませんので、電源をONにする際はホールド機能を解除してください。

各種メニュー機能の設定

各種機能設定の操作の基本は本製品の電源が ON になった待機状態からメニューボタン④を押してメニューモードへ移り、次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑩を押して設定したい機能を選択します。なお、メニューモード時にメニューボタン④を2秒間以上押し続けると待機状態へ戻ります。



ご注意

※ メニューモードへ入った後、何もボタン操作しない状態が10秒継続すると、自動的に待機状態に戻ります。

残り録音可能時間の確認

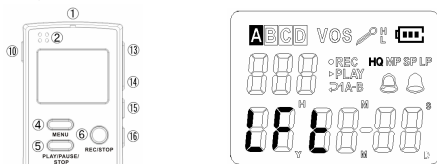
内蔵メモリに対する録音可能な残りの時間を確認することができます。

(1) 確認する音質を選択する。

残り録音可能時間は音質モードごとに確認しますので、待機状態でモードボタン⑩を数回押し、HQ/MP/SP/LP の中から残り録音可能時間を確認したい音質モードを選択します。

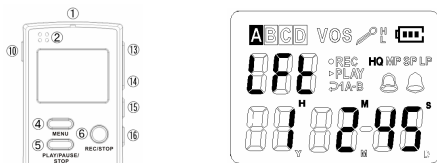
(2) 残り録音可能時間を確認する。

メニューボタン④を1回押せばディスプレイに[LFT]と表示されますので、その状態で再度メニューボタン④を1回押せば、残り録音可能時間が表示されます。



(3) 残り録音可能時間の見かた。

残り録音可能時間は【時間(H)分(M)秒(S)】で表示されます。下の図の例ではHQモードで残り1時間2分45秒録音できることが確認できます。

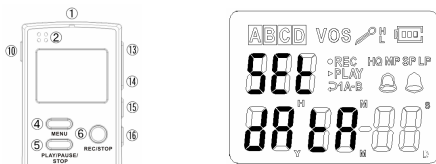


年月日の設定

本製品の内部時計の年月日を設定します。

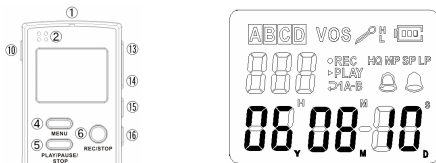
(1) 年月日の設定モードを選択する。

待機状態でメニューボタン④を軽く1回押してメニューモードに移ります。次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して年月日の設定モード[SEt dAtA]を選択し、メニューボタン④を軽く1回押してモードを決定します。



(2) 年月日を設定する。

年月日はそれぞれ2桁の数字で表示されます。設定している項目は数字が点滅しますので、音量+ボタン⑬または音量-ボタン⑭を押して数字を調整します。数字の調整後、次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を1回押すと数字が確定され、次の設定項目へ移ります。全ての項目の設定が完了したらメニューボタン④を軽く1回押して設定内容を確定します。



ご注意

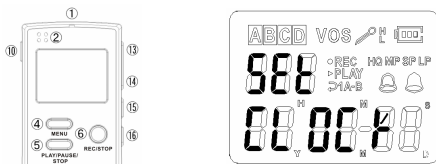
※ 年月日の設定は電源の自動OFF後も有効ですが、電池の交換を行うとリセットされますのでご注意ください。

時刻の設定

本製品の内部時計の時刻を設定します。

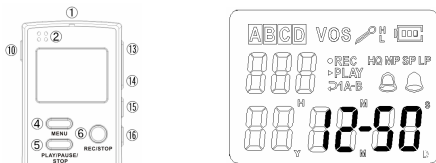
(1) 時刻の設定モードを選択する。

待機状態でメニューボタン④を軽く1回押してメニューモードに移ります。次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して時刻の設定モード[SEt CLOCK]を選択し、メニューボタン④を軽く1回押してモードを決定します。



(2) 時刻を設定する。

時刻(時、分)はそれぞれ2桁の数字で表示されます。設定している項目は数字が点滅しますので、音量+ボタン⑬または音量-ボタン⑭を押して数字を調整します。数字の調整後、次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を1回押すと数字が確定され、次の設定項目へ移ります。全ての項目の設定が完了したらメニューボタン④を軽く1回押して設定内容を確定します。



ご注意

- ※ 時間は 24 時間表示です。
- ※ 時刻の設定は電源の自動 OFF 後も有効ですが、電池の交換を行うとリセットされますのでご注意ください。

タイマー録音の設定

設定した時刻に自動的に録音を開始する機能です。

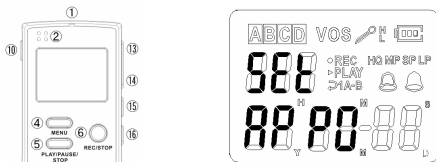


ご注意

※ 設定したタイマーの時刻は本製品の内部時計の時刻を参照しますので、事前に内部時計の時刻を設定してください。

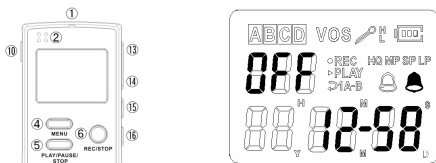
(1) タイマー録音の設定モードを選択する。

待機状態でメニューボタン④を軽く1回押してメニューモードに移ります。次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押してタイマー録音の設定モード[SET APPO]を選択し、メニューボタン④を軽く1回押してモードを決定します。



(2) タイマー録音の時刻を設定する。

タイマー時刻(時、分)はそれぞれ2桁の数字で表示されます。設定している項目は数字が点滅しますので、音量+ボタン⑬または音量-ボタン⑭を押して数字を調整します。数字の調整後、次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を1回押すと数字が確定され、次の設定項目へ移ります。



(3) 設定内容を確定し、有効にする。

時刻の設定が完了したら次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して、ディスプレイ左上の[OFF]が点滅する状態にします。その状態で音量+ボタン⑬または音量-ボタン⑭を押して[ON]が点滅する状態にしたらメニューボタン④を軽く1回押して設定内容を確定します。これでタイマー録音設定が有効になり、ディスプレイ右側の[🔔]マークが常時点灯します。



(4) タイマー録音の設定を解除するには。

タイマー録音の設定を解除するには上記(3)の操作でディスプレイ左上の表示を[ON]から[OFF]の状態にし、メニューボタン④を軽く1回押して設定内容を確定します。



ご注意

- ※ 本製品の電源が OFF の状態でも設定した時刻になれば自動的に録音が始まります。
- ※ 音声の再生中にタイマー録音を設定した時刻になった場合、タイマー録音の設定が優先されるため、再生が停止し、録音が始まります。
- ※ 音声の録音中にタイマー録音を設定した時刻になった場合、進行中の録音が優先されます。

アラームの設定

設定した時刻にアラームが鳴る機能です。鳴っているアラームを停止するには本製品のどれでも任意のボタンを軽く1回押します。

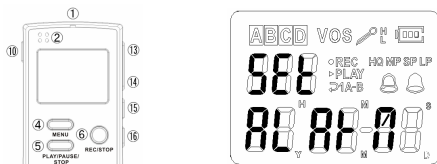


ご注意

※ 設定したアラームの時刻は本製品の内部時計の時刻を参照しますので、事前に内部時計の時刻を設定してください。

(1) アラームの設定モードを選択する。

待機状態でメニューボタン④を軽く1回押してメニューモードに移ります。次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押してアラームの設定モード[SEt ALArM]を選択し、メニューボタン④を軽く1回押してモードを決定します。




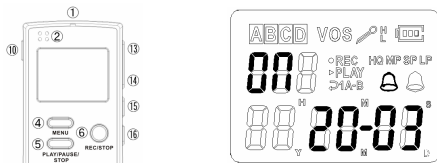
(2) アラームの時刻を設定する。

アラームの時刻(時、分)はそれぞれ2桁の数字で表示されます。設定している項目は数字が点滅しますので、音量+ボタン⑬または音量-ボタン⑭を押して数字を調整します。数字の調整後、次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を1回押すと数字が確定され、次の設定項目へ移ります。



(3) 設定内容を確定し、有効にする。

時刻の設定が完了したら次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して、ディスプレイ左上の[OFF]が点滅する状態にします。その状態で音量＋ボタン⑬または音量－ボタン⑭を押して[ON]が点滅する状態にしたらメニューボタン④を軽く1回押して設定内容を確定します。これでアラームの設定が有効になり、ディスプレイ右側の[]マークが常時点灯します。



(4) アラームの設定を解除するには。

アラームの設定を解除するには上記(3)の操作でディスプレイ左上の表示を[ON]から[OFF]の状態にし、メニューボタン④を軽く1回押して設定内容を確定します。



ご注意

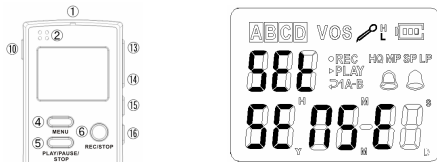
- ※ 本製品の電源が OFF の状態でも設定した時刻になれば自動的にアラームが鳴ります。
- ※ 音声の再生中にタイマー録音を設定した時刻になった場合、アラームの設定が優先されるため、再生が停止し、アラームが鳴ります。
- ※ 音声の録音中にアラームを設定した時刻になった場合、アラームの設定が優先されるため、録音が停止し、アラームが鳴ります。
- ※ 一度有効にしたアラームの設定は解除操作をしない限り、有効のままです。

録音感度の設定

内蔵マイクの録音感度を設定する機能です。録音するときの環境に合わせて設定してください。

(1) 録音感度の設定モードを選択する。


待機状態でメニューボタン④を軽く1回押してメニューモードに移ります。次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して録音感度の設定モード[SET SENSE]を選択し、メニューボタン④を軽く1回押してモードを決定します。

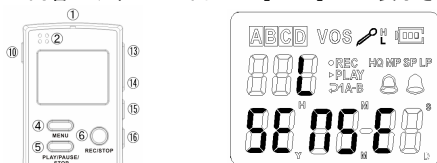


(2) 録音感度を設定する。

録音感度は[L]と[H]の2種類から選択します。[L]は主に近距離での録音時に適しており、[H]は主に広範囲にわたる録音時に適しています。

次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して録音感度を選択し、メニューボタン④を軽く1回押して設定内容を確定します。

設定した内容はディスプレイ右上に[]として表示されます。



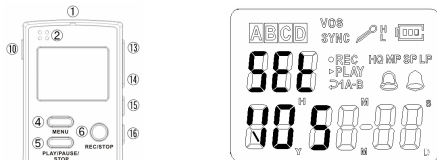
VOS 機能の設定

録音中に録音する音声が無いときに自動的に録音を停止して無駄な録音を防ぐ機能です。

VOS 機能を有効にすると、録音中に一定以上の音量をマイクで感知できない状態が一定時間継続すると自動的に録音を停止し、再度一定以上の音量をマイクで感知すると自動的に録音を再開します。

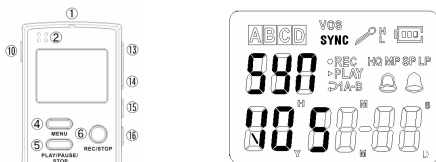
(1) VOS 機能の設定モードを選択する。

待機状態でメニューボタン④を軽く1回押してメニューモードに移ります。次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して VOS 機能の設定モード[SET VOS]を選択し、メニューボタン④を軽く1回押してモードを決定します。



(2) VOS 機能を設定する。

VOS 機能は通常の VOS と SYNC 型 VOS の 2 種類から選択します。通常の VOS は録音停止後に録音を再開しても音声は録音停止前と同一の録音ファイルに保存されますが、SYNC 型 VOS は録音停止後に一定以上の音量をマイクで感知できない状態が更に一定時間継続すると、現在の録音ファイルを自動的に保存し、録音を再開するときには新しい録音ファイルとして録音を再開します。次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して[ON] (通常の VOS) か [SyN] (SYNC 型 VOS) の VOS 機能を選択し、メニューボタン④を軽く 1 回押して設定内容を確定します。設定した内容はディスプレイ上方に [VOS] または [SYNC] として表示されます。

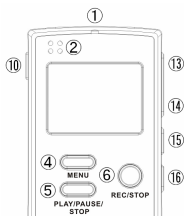


ご注意

※ VOS 機能によって録音が停止しているときは、ディスプレイ上方の [VOS] または [SYNC] の文字が点滅します。

フォルダについて

音声を録音すると録音ファイルが作成され、本製品の内蔵メモリにあるA/B/C/Dの4つのフォルダの内の1つに保存されます。各フォルダにはそれぞれ99件の録音ファイルを保存することができ、録音や再生、消去操作するときは、フォルダ+ボタン⑬またはフォルダーボタン⑭を押してフォルダを選択することができます。



ご注意

※ 1つのフォルダ内の録音ファイルが99件になると、そのフォルダ内ではそれ以上の録音できません。続けて録音するにはそのフォルダ内の不要な録音ファイルを削除するか、別のフォルダを選択する必要があります。

音声を録音する

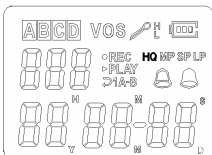
内蔵マイクまたは外付けマイクを使用して音声を録音します。

内蔵マイクでの録音

本製品の内蔵マイクを使用して、音声を録音します。

(1) 録音する音質を設定する。

音声を録音する際は HQ/MP/SP/LP の4つの音質から1つを選択して録音します。現在の音質は待機状態のとき、ディスプレイ右上の録音音質表示で確認できます。

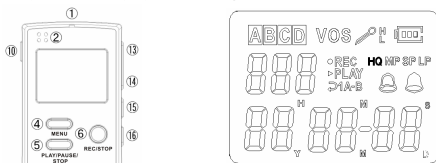


録音音質はHQが最も高音質であり、HQ ⇒ MP ⇒ SP ⇒ LPの順に音質は落ちて行きます。録音音質は高音質になるほど、録音するのに多くのメモリが必要となるため、長時間の連続録音をする場合は低音質の録音が適しています。

録音音質別最長録音可能時間表

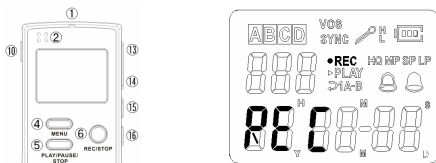
録音音質	内蔵メモリ容量		
	32MB	64MB	128MB
HQ	約 2 時間	約 4 時間	約 8 時間
MP	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間
SP	約 4 時間	約 8 時間	約 16 時間
LP	約 14 時間	約 28 時間	約 56 時間

録音音質を変更するには待機状態でモードボタン⑩を軽く1回押します。モードボタン⑩を1回押す度に録音音質の表示が HQ ⇒ MP ⇒ SP ⇒ LP ⇒ HQ の順番で移って行きますので、モードボタン⑩を数回押して変更したい録音音質に設定します。



(2) 録音を開始する。

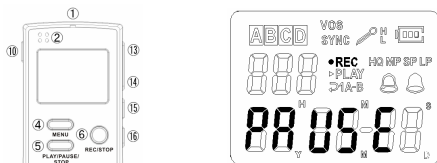
録音を開始するには、待機状態で録音ボタン⑥を約2秒間、本製品正面の LED ランプ①が点灯するまで押し続けます。録音が始まると本製品正面の LED ランプ①とディスプレイ中段の [●REC] が点灯します。また、ディスプレイ下部では一瞬 [REC] と表示された後、録音時間のカウントが開始されます。



(3) 録音を一時停止する。

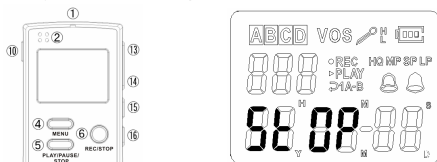
録音を一時停止するには、録音中に一時停止ボタン⑤を軽く1回押します。録音が一時停止されると本製品正面のLEDランプ①が点滅し、ディスプレイに [PAUSE] の文字が点滅します。

一時停止状態から録音を再開するには、一時停止ボタン⑤を軽く1回押します。



(4) 録音を終了する。

録音を終了するには、録音中に停止ボタン⑥を軽く1回押します。録音が終了されると本製品正面のLEDランプ①とディスプレイ中段の [•REC] が消灯します。また、ディスプレイ下部では一瞬 [StOp] と表示された後、録音が停止されます。



外付けマイクでの録音

本製品は内蔵マイクでの他、本製品上面のマイク端子⑧に市販の外付けマイクを接続することによって、外付けマイクでの音声録音が可能です。なお、録音の手順は内蔵マイクでの録音手順と同じです。



ご注意

- ※ 鮮明な音声を録音するには、本製品正面の内蔵マイク①または外付けマイクをできるだけ録音したい音源へ近づけてください。
- ※ 内蔵マイク①または外付けマイクと音源の間に遮へい物があったり、内蔵マイク①または外付けマイクがカバンや服などに隠れていたりする場合は、鮮明な音声が録音できませんのでご注意ください。
- ※ 外付けマイクでの音声録音中は、内蔵マイクからは音声が録音されません。

録音した音声を再生する

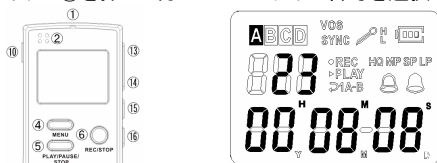
録音した音声を内蔵スピーカーまたはイヤホンから再生します。

内蔵スピーカーでの再生

本製品の内蔵スピーカーから音声を再生します。

(1) 再生する録音ファイルを選択する。

再生する録音ファイルを選択します。まずは、フォルダ+ボタン⑬またはフォルダーボタン⑭を押して再生したいファイルが保存されているフォルダを選択します。次に、次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して再生したいファイル番号を選択します。



(2) 再生を開始する。

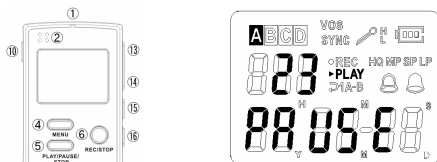
ファイルの再生を開始するには、待機状態で再生ボタン⑤を軽く1回押します。再生が開始されるとディスプレイ中段の[▶PLAY]が点灯します。また、ディスプレイ下部では一瞬[PLAY]と表示された後、再生時間のカウントダウンが開始されます。



(3) 再生を一時停止する。

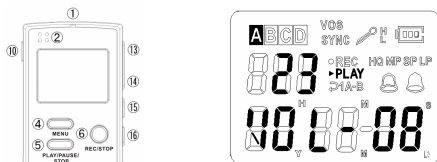
ファイルの再生を一時停止するには、ファイルの再生中に一時停止ボタン⑤を軽く1回押します。再生が一時停止されるとディスプレイに [PAUSE] の文字が点滅します。

一時停止状態から再生を再開するには、一時停止ボタン⑤を軽く1回押します。



(4) 再生音量を調節する。

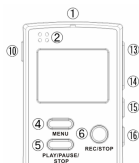
ファイルの再生する音量は、ファイルの再生中または一時停止中に音量+ボタン⑬または音量-ボタン⑭を押して調節します。音量は0(無音)～12まであり、数値が上がるほど音量は大きくなります。



(5) 早送り／巻き戻し／スキップ再生をする。

早送り再生をするには、ファイルの再生中に早送りボタン⑮を押し続けます。巻き戻し再生をするには、ファイルの再生中に巻き戻しボタン⑯を押し続けます。早送り／巻き戻し再生を終了するには、押し続けているボタンを離せば、その時点よりの通常再生に戻ります。

再生するファイルをスキップするには、ファイルの再生中に次スキップボタン⑮を軽く1回押すと現在のファイルの再生を中断し、次のファイルの再生が開始されます。また、ファイルの再生中に前スキップボタン⑯を軽く1回押すと現在のファイルの再生を中断し、前のファイルの再生が開始されます。



(6) 再生モードを設定する。

再生には通常再生、全ファイルリピート再生、1ファイルリピート再生の3つのモードがあります。設定中の再生モードはディスプレイ中段に表示され、それぞれの説明は次の通りです。

[表示なし]: 通常再生

1つのファイルの再生が終わると、自動的に再生を終了し、待機状態に戻ります。

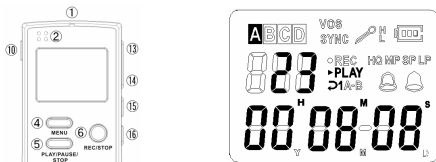
[↻]: 全ファイルリピート再生

1つのファイルの再生が終わると、自動的に次のファイルの再生を開始し、フォルダ内全てのファイルの再生を行います。フォルダ内の最後のファイルの再生が終わると、自動的に最初のファイルに戻って再生を開始し、それを繰り返します。

[↻1]: 1ファイルリピート再生

1つのファイルの再生が終わると、自動的にそのファイルを始めから再生を開始し、それを繰り返します。

再生モードを設定するには、ファイルの再生中または一時停止中にメニューボタン④を軽く1回押します。メニューボタン④を1回押す度に再生モードの表示が[表示なし] ⇒ [↻] ⇒ [↻1] ⇒ [表示なし]の順番で移って行きますので、メニューボタン④を数回押して変更したい再生モードに設定します。

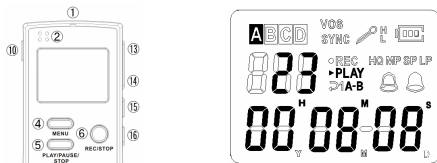


(7) A-B リピート再生を設定する。

本製品には1つのファイル内の特定の箇所を繰返し再生する A-B リピートを設定することができます。

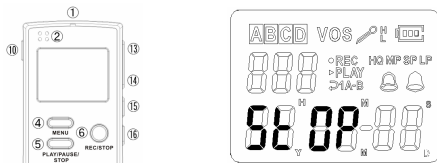
A-B リピートを設定するには、まず、ファイルの再生中に繰返し再生させたい箇所の始まりの時点で A-B リピートボタン⑥を軽く1回押して、起点Aを設定します。起点Aが設定されると、ディスプレイ中段に[A-]が点灯します。次に、繰返し再生させたい箇所の終わりに A-B リピートボタン⑥を軽く1回押して、終点 B を設定します。終点 B が設定されると、ディスプレイ中段に[B]が点灯します。その後、ディスプレイには[A-B]が点滅し、自動的に起点Aから終点 B の間を繰返し再生するようになります。

A-B リピートを終了するには、A-B リピートボタン⑥を軽く1回押すと通常再生に戻ります。



(8) 再生を終了する。

ファイルの再生を終了するには、ファイルの再生中または一時停止中に停止ボタン⑤を約2秒間、ディスプレイ下部に[StOP]と表示されるまで押し続けます。



イヤホンでの再生

本製品は内蔵スピーカーでの他、本製品上面のイヤホン端子⑨にイヤホンを接続することによって、イヤホンでの音声再生が可能です。なお、再生の手順は内蔵スピーカーでの再生手順と同じです。



ご注意

- ※ 音量と再生モードは一時停止状態からでも変更できます。
- ※ 早送り／巻き戻し再生中に音声は出力されません。
- ※ イヤホンでの音声再生中は、内蔵スピーカーからは音声は出力されません。

録音した音声ファイルを削除する

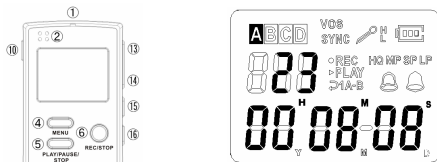
不要になった録音ファイルを削除します。削除には1件削除／フォルダ内全件削除／全件削除の3つの方法があります。

1件削除

選択した1件の録音ファイルのみを削除します。

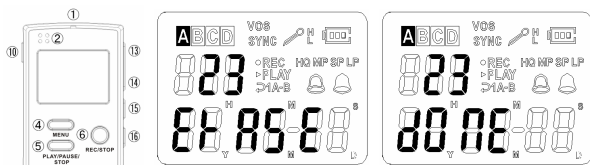
(1) 削除する録音ファイルを選択する。

削除する録音ファイルを選択します。まずは、フォルダ＋ボタン⑬またはフォルダーボタン⑭を押して削除したいファイルが保存されているフォルダを選択します。次に、次スキップボタン⑮または前スキップボタン⑯を押して削除したいファイル番号を選択します。



(2) 削除を実行する。

録音ファイルの削除を実行するには、まず、待機状態で削除ボタン⑩を約2秒間、ディスプレイ下部に[ErASE]の文字が点滅するまで押し続けます。次に、[ErASE]の文字が点滅している状態で、再度削除ボタン⑩を軽く1回押すと、ディスプレイ下部に[dONE]と表示され、該当ファイルが削除されます。この時に削除をキャンセルする場合は[ErASE]の文字が点滅している状態で、削除ボタン⑩、次スキップボタン⑮、前スキップボタン⑯の3つのボタン以外の任意のボタンを軽く1回押すと、削除操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。

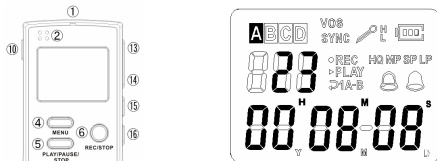


フォルダ内全件削除

選択したフォルダ内の全ての録音ファイルを削除します。

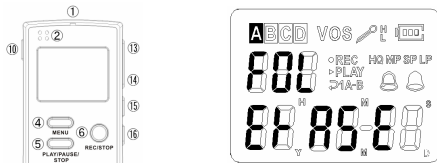
(1) 削除するフォルダを選択する。

フォルダ+ボタン⑬またはフォルダ-ボタン⑭を押して削除したいフォルダを選択します。



(2) 削除を実行する。

フォルダ内全件の録音ファイルの削除を実行するには、まず、待機状態で削除ボタン⑩を約2秒間、ディスプレイ下部に[ErASE]の文字が点滅するまで押し続けます。次に、[ErASE]の文字が点滅している状態で、次スキップボタン⑮軽く1回押して、ディスプレイ左上の表示を[FOL]にします。最後に、ディスプレイに[FOL]と[ErASE]が表示されているのを確認して、削除ボタン⑩を軽く1回押すと、該当フォルダ内の全ての録音ファイルが削除されます。この時に削除をキャンセルする場合は[ErASE]の文字が点滅している状態で、削除ボタン⑩、次スキップボタン⑮、前スキップボタン⑯の3つのボタン以外の任意のボタンを軽く1回押すと、削除操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。



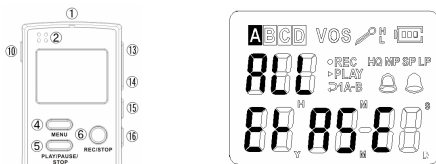
全件削除

本製品内の全ての録音ファイルを削除します。

(1) 削除を実行する。

本製品内全件の録音ファイルの削除を実行するには、まず、待機状態で削除ボタン⑩を約2秒間、ディスプレイ下部に[ErASE]の文字が点滅するまで押し続けます。次に、[ErASE]の文字が点滅している状態で、前スキップボタン⑬を軽く1回押して、ディスプレイ左上の表示を[ALL]にします。最後に、ディスプレイに[ALL]と[ErASE]が表示されているのを確認して、削除ボタン⑩を軽く1回押すと、本製品内の全ての録音ファイルが削除されます。

この時に削除をキャンセルする場合は[ErASE]の文字が点滅している状態で、削除ボタン⑩、次スキップボタン⑮、前スキップボタン⑬の3つのボタン以外の任意のボタンを軽く1回押すと、削除操作がキャンセルされ、待機状態に戻ります。



ご注意

※ [ErASE]の文字が点滅している状態で、次スキップボタン⑮を1回押す度にディスプレイ左上の表示が ファイル番号 ⇒ FOL ⇒ ALL ⇒ ファイル番号の順番で移って行きます。また、次スキップボタン⑮の代わりに前スキップボタン⑬を押すと逆の順番で表示が移って行きます。

外部のオーディオとの録音

付属のオーディオケーブルを使用して、外部オーディオから音楽などを録音したり、また、本製品の録音内容を外部オーディオへ録音します。

外部オーディオからの録音

付属のオーディオケーブルを使用して、本製品に外部オーディオから音楽などを録音します。

(1) 機器を接続する。

本製品上面のマイク端子⑧と外部オーディオのイヤホン(出力)端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



(2) 本製品の録音を開始する。

本製品の録音を開始してください。なお、録音の操作手順はマイクでの通常録音の操作手順と同じです。

(3) 外部オーディオの再生を開始する。

外部オーディオの再生を開始してください。なお、外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。



ご注意

- ※ 外部オーディオの音量が大きすぎると録音される音声に歪みが生じることがございますので、その際は外部オーディオの音量を中音量より小さく調節してください。
- ※ 外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。

外部オーディオへの録音

外部オーディオに録音機能がある場合は、付属のオーディオケーブルを使用して、本製品の録音内容を外部オーディオへ録音することができます。

(1) 機器を接続する。

本製品上面のイヤホン端子⑨と外部オーディオのマイク(入力)端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



(2) 外部オーディオの録音を開始する。

外部オーディオの録音を開始してください。なお、外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。

(3) 本製品の再生を開始する。

本製品の再生を開始してください。なお、再生の操作手順は通常再生の操作手順と同じです。



ご注意

- ※ 本製品の音量が大きすぎると録音される音声に歪みが生じることがございますので、その際は本製品の音量を中音量より小さく調節してください。
- ※ 外部オーディオの操作方法は、外部オーディオの説明書などをご確認ください。

固定電話の通話内容を録音する

付属の電話回線アダプタを使用して、固定電話（一般家庭用）の通話内容を録音します。

機器の接続

付属の電話回線アダプタを使用して、本製品と電話機を接続します。

(1) 本製品と電話回線アダプタを接続する。

本製品上面のマイク端子⑧と付属の電話回線アダプタの出力端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



(2) 電話機を受話器を取り外す。

電話機本体からモジュラーコードごと受話器を取り外します。

(3) 電話機と電話回線アダプタを接続する。

(2)で取り外した電話機本体のモジュラージャックに付属のモジュラーコードを差し込み、そのモジュラーコードの反対側を電話回線アダプタの[LINe]側のジャックに差し込みます。

(4) 受話器と電話回線アダプタを接続する。

(2)で取り外した受話器のモジュラーコードを電話アダプタの[HANDSET]側のジャックに差し込みます。



録音の実施

機器の接続を完了したら本製品の録音を開始してください。なお、録音の操作手順は内蔵マイクでの通常録音の操作手順と同じです。



ご注意

- ※ 付属品の電話回線アダプタは一般の固定電話機にのみ対応しております。ビジネスフォンなどには使用できませんのでご注意ください。
- ※ 一般の固定電話機であっても、お使いの電話機によっては通話音声鮮明に録音できない場合がございます。
- ※ 通話の録音ができるのは電話機本体の受話器を使用して通話した場合に限ります。ワイヤレスの子機の受話器などを使用した場合は通話の録音できませんのでご注意ください。

パソコンに接続する

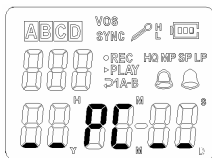
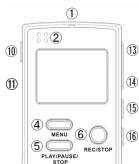
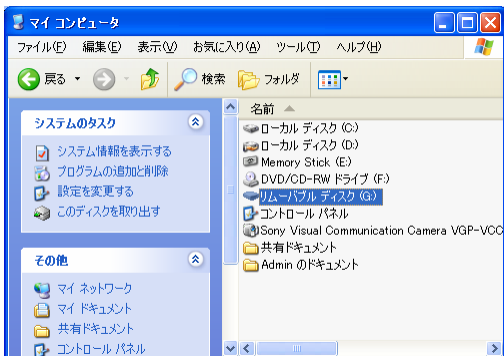
付属の USB ケーブルを使用して、パソコンの USB 端子と接続し、データの転送を行うことができます。

本製品は大容量記憶装置 (MassStorageClass) ドライバに対応しており、対応 OS (Windows Me/2000/XP) がインストールされたパソコン と製品付属の USB ケーブルを使用して接続することにより、自動的に USB 大容量記憶装置デバイスとして認識されます。

USB 大容量記憶装置デバイスとして認識された後は、一般のリムーバブルディスクとして Windows(R) のエクスプローラーによるファイルのドラッグ & ドロップなどによってファイルのコピー、削除、移動を行うことができます。

機器の接続

付属の USB ケーブルを使用して、本製品の USB 端子⑪とパソコンの USB 端子を接続すると、自動的に必要なドライバがインストールされ、本製品がリムーバブルディスクとしてパソコンの OS に認識されます。パソコンに接続中は本製品のディスプレイに [PC] と表示されます。

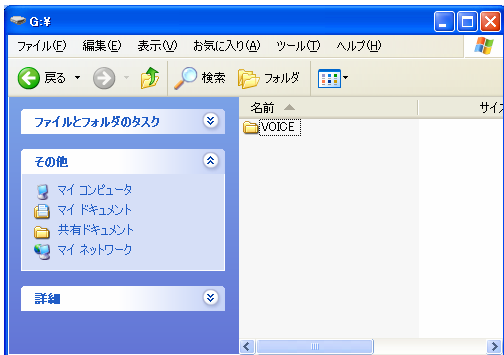


録音ファイルの確認

本製品がパソコンの OS にリムーバブルディスクとして認識されると、パソコン内のファイルを見るように、本製品に録音されているファイルをパソコン上から確認することができます。

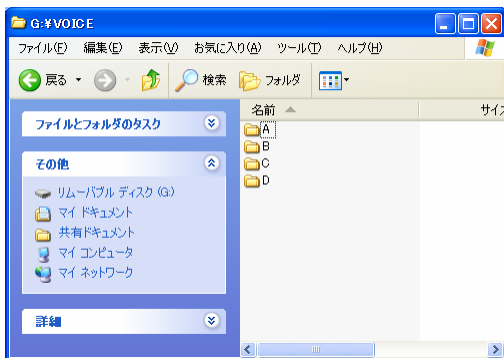
(1) [VOICE]フォルダの確認

リムーバブルディスクをダブルクリックしてリムーバブルディスク内を確認すると[VOICE]フォルダが確認できます。



(2) 録音フォルダの選択

[VOICE] フォルダをダブルクリックしてフォルダ内を確認すると A/B/C/D という4つのフォルダが確認できます。



この A/B/C/D という4つのフォルダは本製品における A/B/C/D の各録音フォルダにリンクしています。つまり、本製品において [A] フォルダに録音したファイルは、パソコン上でも [A] フォルダ内に存在します。

(3) 録音ファイルの確認

A/B/C/D の4つのフォルダの内、録音ファイルが保存されているフォルダをダブルクリックしてフォルダ内を確認すると、そのフォルダ内に保存されている録音ファイルが確認できます。

ファイル名の見方

録音ファイルのファイル名の見方を説明します。



パソコン上から本製品内の録音ファイルを見たとき、ファイル名は次のように表示されます。

REC_0001.S32

REC(固定) 録音連番 録音音質

録音連番は録音した順番に割り当てられます。また、本製品内では録音連番の数値が小さい順にファイル番号が割り当てられます。

下の図の例では、[REC_0004.S16]は 4 番目に録音されたファイルですが、フォルダ内の録音連番では 3 番目に小さいため、本製品内でのファイル番号は[003]となります。

従いまして、もし、下図のフォルダ内の録音ファイル[REC_0002.S32]を削除した場合は、[REC_0004.S16]はフォルダ内の録音連番では 2 番目に小さくなるため、本製品内でのファイル番号は[003] から[002]に変更されます。



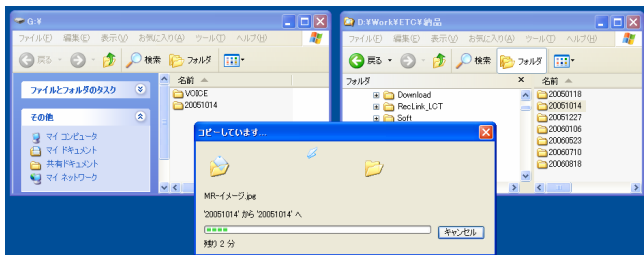
録音音質とファイル名表示の対応表は次の通りです。

録音音質	HQ	MP	SP	LP
ファイル名表示	S32	S24	S16	S48

データの転送

本製品ではパソコンとのデータ転送においては特別なマネージャソフトを必要としないため、操作はパソコン内のファイル进行操作するように、Windows(R)のエクスプローラーからドラッグ & ドロップ操作などで行ってください。

なお、録音ファイルの他、Excel(R)やWord(R)などの一般的な任意のデータも転送することが可能ですが、本製品の動作に影響しますので、既存のフォルダ(VOICE/A/B/C/D)内には録音データ以外のデータを転送しないでください。



ご注意

- ※ 本製品の動作に影響しますので、既存のフォルダ(VOICE/A/B/C/D)内には録音データ以外のデータを転送しないでください。
- ※ データ破損の原因となりますので、データの転送中は絶対に USB ケーブルを外さないでください。

録音ファイルをパソコン上で再生する

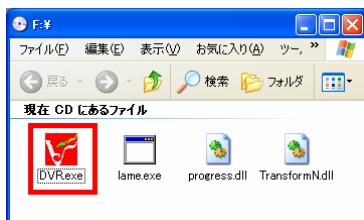
本製品で録音した音声ファイルを付属の専用ソフトウェアでフォーマット変換することによって、パソコン上で再生することが可能です。

録音ファイルのフォーマット変換

本製品で録音した音声ファイルは独自のフォーマットのため、そのままではパソコン上で再生することができません。録音ファイルをパソコン上で再生するためには、付属の専用ソフトウェアを使用して、パソコン上でも再生できる一般的なファイルフォーマットに変換する必要があります。

(1) ソフトウェアを起動する。

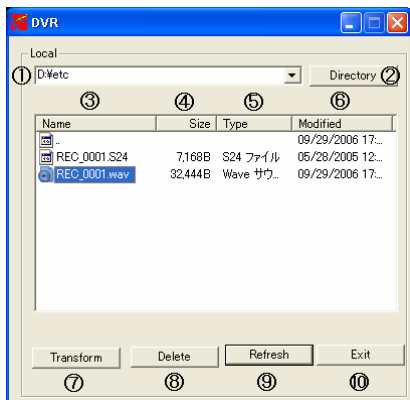
パソコンの CD ドライブに付属の CD をセットし、CD 内の [DVR] (DVR.exe) をダブルクリックして、専用ソフトウェアの [DVR] を起動します。



⚠️ ご注意

※ [DVR]はインストール型アプリケーションではないので、付属の CD 内の全てのデータをパソコンのローカルディスクにコピーすれば、付属の CD が無くても直接 [DVR] を起動することが可能です。

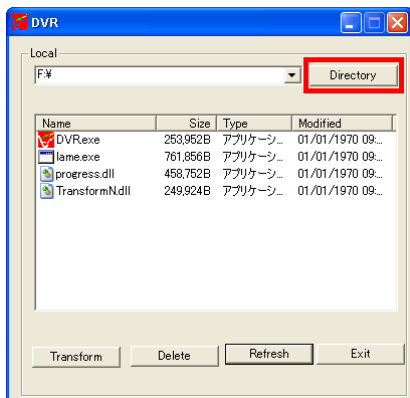
(2) DVR ウィンドウの説明。



- ①現在のフォルダの場所(ディレクトリパス)を表示します。
- ②フォルダの場所(ディレクトリパス)を変更します。
- ③ファイルの名前を表示します。
- ④ファイルのサイズを表示します。
- ⑤ファイルの種類を表示します。
- ⑥ファイルの更新日時を表示します。
- ⑦選択しているファイルのフォーマット変換を行います。
- ⑧選択しているファイルを削除します。
- ⑨現在のフォルダ内の表示を更新します。
- ⑩[DVR]を終了します。

(3) フォーマット変換する録音ファイルを選択する。

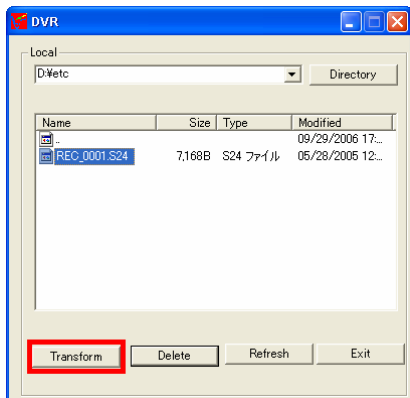
[DVR]を起動したら、[Directory]ボタンをクリックします。



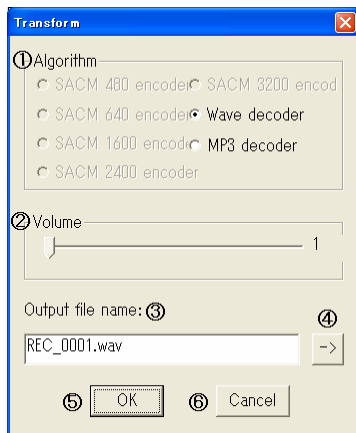
[フォルダの参照]ウィンドウが起動しますので、フォーマットを変換したい録音ファイルが保存されているパソコン上のフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



[DVR]ウィンドウ内に録音ファイルが表示されますので、フォーマットを変換したい録音ファイルをカーソルで選択し、[Transform]ボタンをクリックして、[Transform]ウィンドウを起動します。



(4) Transform ウィンドウの説明。



- ①変換するフォーマットを選択します。
- ②作成されるファイルの音量を調節します。
- ③作成されるファイル名を表示します。
- ④ファイルが作成されるフォルダを変更します。
- ⑤フォーマット変換を行います。
- ⑥フォーマット変換をキャンセルします。

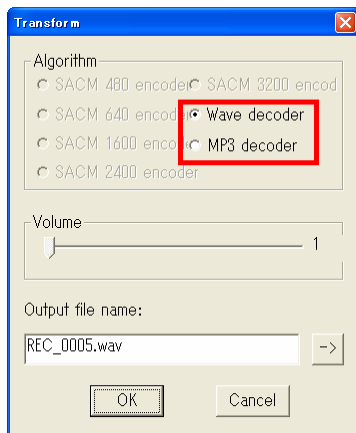


ご注意

- ※ フォーマット変換は新たにファイルを作成するため、オリジナルの録音ファイルはそのまま残ります。
- ※ フォーマット変換の過程で音質が劣化することがあります。
- ※ オリジナルの音質によってはフォーマット変換後の音量が極端に小さくなる場合がありますが、変換時に[Volume]を調節することにより、改善されることがあります。

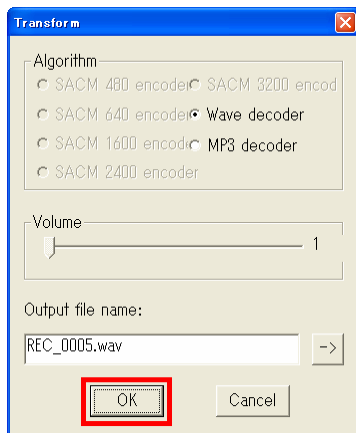
(5) 変換するフォーマットを選択する。

[Transform]ウィンドウが起動されたら、[Algorithm]から[Wave decoder]をクリックして選択します。

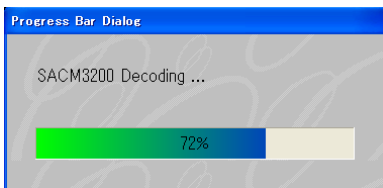


(6) フォーマット変換を実施する。

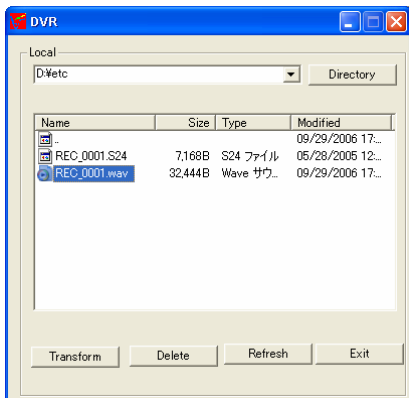
変換したいフォーマットを選択したら、[OK]ボタンをクリックします。



フォーマット変換が開始され、進行状況がパーセンテージで表示されます。



フォーマットの変換が完了すると、変換する前の録音ファイルと同じフォルダ内に変換後のファイルが作成されます。

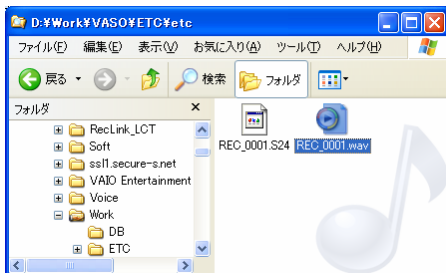


ご注意

- ※ フォーマット変換は新たにファイルを作成するため、オリジナルの録音ファイルはそのまま残ります。
- ※ [Transform]ウィンドウでファイルが作成されるフォルダを変更した場合は、ファイルは変更したフォルダ内に作成されます。

フォーマット変換した録音ファイルを再生する

フォーマットを変換した録音ファイルは、パソコン上の音楽ファイルのように Windows Media Player(R)などの一般的なアプリケーションから再生することが可能です。



ご注意

- ※ WAV の拡張子が適切なアプリケーションに関連付けられている場合は、録音ファイルをダブルクリックすることで再生が可能です。
- ※ Windows Media Player(R)などのアプリケーションの操作方法は、アプリケーション独自の説明書などをご確認ください。

トラブルシューティング

トラブル内容	対応
電源が入らない	バッテリー残量が十分かご確認ください。
ディスプレイの表示が薄い	バッテリー残量が十分かご確認ください。
音が聞こえない	音量が 0 になってないかご確認ください。
	ヘッドホンプラグが汚れていないかご確認ください。
	ファイルが壊れていないかご確認ください。
PC 接続がうまくいかない	USB ケーブルの接続及び、破損がないかご確認ください。
一定時間放置すると勝手に本体の電源が切れる。	本製品の自動省電力機能です。故障ではございません。
一切のボタン操作ができなくなった。	HOLD 機能が ON になっておりませんか？ HOLD 機能が OFF になっていることをお確かめのうえ、再度お試しください。
ボタンを押してから反応するまでの時間が遅くなった。	バッテリー(電池)の残量不足が原因で発生することがございます。バッテリーの充電、または新品の電池に交換して再度お試しください。
	メモリの空き容量が極端に少なくなる(約 0.1%以下)と発生することがございます。不要なデータを削除して再度お試しください。
録音データの消去操作がうまくできない。	削除ボタンを長押ししている可能性がございます。消去操作においては画面に[ErAse]と点滅していることを確認してから再度削除ボタンを押しますが、その際に削除ボタンを長押しすると消去操作がキャンセルされてしまいますので、[ErAse]と点滅時に押す削除ボタンは短く(1 秒以内)押ししてください。

主な製品仕様

サイズ	[H]94mm / [W]33mm / [D]17mm
重さ	38g(電池なし)
メモリ容量	16MB / 32MB / 64MB / 128MB
録音フォーマット	メーカーユニークフォーマット
周波数特性	500Hz ~ 3,500Hz
最大保存ファイル数	396 件(99x4)
電源	単 4 電池 2 本
電池持続時間	約 6 時間 ~ 12 時間(イヤホン使用時)
ディスプレイ	液晶ディスプレイ
内蔵マイク	コンデンサマイク
内蔵スピーカー	φ 26mm
最大出力	80mW(32Ω)
使用可能温度	0°C ~ 40°C
端子	マイク、イヤホン、USB
対応 OS	Windows(R) Me / 2000 / XP
データ転送速度	USB 1.1
付属品	イヤホン、オーディオケーブル、固定電話機用回線アダプタ、モジュラーコード、専用ソフトウェア CD、USB ケーブル、単 4 電池 2 本、取扱説明書・保証書

※ 本仕様及びデザインは予告なしに変更することがございます。

保証規定

1. 保証期間中に取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無償保証をさせていただきます。
2. 保証期間中の無償保証はサポートID登録をされた方に対して有効です。商品ご購入後30日以内に下記 URL よりサポートID登録を行ってください。それ以外の方は商品ご購入日より30日保証とさせていただきます。

<http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

3. この保証書は、本製品の直接購入者に限って適用されるものであり、他人に譲渡することはできません。また個人取引などで購入された商品は保証の対象外となります。
4. この保証書は、本製品が組み込まれるユーザー側のコンピュータ、ハードウェア、その他の関連システム構成などに起因する何らかの互換性を保証するものではありません。
5. 次の各項のいずれかに該当する場合、保証期間中でも保証の責任を負わないものとします。
 - ◎保証書のご提示がない場合
 - ◎保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの及び販売店名の表示のない場合
 - ◎お客様によるお買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障
 - ◎火災、地震、水害、落雷、その他の天災事変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ◎接続しているほかの機器に起因して生じた故障及び損傷
 - ◎商品の故障等によって生じた他の機器への影響やデータ損失などの損害
 - ◎当社以外での改造、調整、部品交換などをされた場合
 - ◎説明書の記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障及び損傷
 - ◎消耗品類の交換
 - ◎当社で不具合の確認が取れなかった場合
 - ◎外傷が酷い、付属品などが揃っていない場合
 - ◎お客様によるOSやソフトウェアのインストールによって生じた不具合、相性など
 - ◎メーカー保証書があるにも関わらず紛失している場合
6. 交換、修理後の製品の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日とします。
7. この保証書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
8. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
9. この保証書は、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、本製品の使用または使用不能から生ずる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)に関して当社は一切の責任を負わないものとします。

※この保証書は、保証規定に明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書

本書は、保証規定内容により、下記の保証期間中に故障が発生した場合に無償修理させて頂くことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、当社まで修理のご依頼の上、本書をご提示ください。

※故障の起因がお客様の過失による場合は有償対応となりますので予めご了承願います。

製品名	VR48x	
保証期間	■ 6ヶ月間 ※サポートID登録された方のみ有効	
ご購入日	年 月 日	
お客様情報	お名前	
	ご住所	〒
	ご連絡先	
	E-mail アドレス	
販売店情報		

ATC アクセルトレーディング株式会社

〒532-0011

大阪府大阪市淀川区西中島 3-14-9 三好第3ビル 302

サポートID登録用 URL : <http://www.accel-trade.com/support/entry.html>

FAQ(よくあるご質問とご回答) : <http://www.accel-trade.com/support/faq.html>

E-mail : support@accel-trade.com